

科目区分	専門分野	科目名	診療補助技術 I (検査・治療処置)	対象学生	第 1 学年
		単位数 (時間数)	1 単位 (15 時間)	学 期	第 2 学期
担当講師	渡部 寛子 (臨床経験 21 年、教育経験 5 年)				
科目目標	1. 診療の補助における看護の役割を理解する。 2. 検査・治療処置を受ける患者の看護を理解する。 3. 診療補助技術を習得する。				
授業計画	<p>第 1 回 診察の基礎的知識・検査時の基礎的知識 (講義)</p> <p>1. 診療における検査の位置づけ 2. 検査の目的と種類            3. 検査が患者に及ぼす影響 4. 診察・検査における看護師の役割</p> <p>第 2 回 検査を受ける患者の看護 (講義)</p> <p>1. 検体検査時の看護 1) 尿検査 2) 便検査 3) 喀痰検査            2. 生体検査時の看護            1) 心電図検査            2) X 線検査 (1) X 線の性質 (2) X 線検査の種類            (3) 造影剤の副作用と対策 (4) 被曝の軽減            3) 消化管造影検査 4) CT 検査 5) MRI 検査 6) 内視鏡検査 7) 超音波検査</p> <p>3. 穿刺時における看護 1) 胸腔穿刺 2) 腹腔穿刺 3) 腰椎穿刺 4) 骨髄穿刺</p> <p>第 3 回 医療機器を必要とする患者の看護 (講義)</p> <p>1. 医療機器とは            2. 医療機器の安全な使用(日常点検とトラブル防止)            1) 医療機器使用に伴う事故とその対策(感電・安全な電源の取り方)            2) 安全管理            3. 医療機器を必要とする患者の看護            4. 診断・観察に用いる医療機器 5. 治療に用いる医療機器</p> <p>第 4 回 創傷管理と包帯法 (講義・演習)</p> <p>1. 皮膚の構造と機能            2. 創傷の種類と治癒過程            1) 再生治療と瘢痕治癒 2) 汚染創と感染創 3) 創傷治癒形態            4) 創傷治癒過程            3. 創傷処置            1) 創洗浄と創保護 (1) 創洗浄の方法と注意点(2) テープ固定法            (3) ドレッシング剤の選択 (4) 包帯法(演習)</p> <p>第 5 回 静脈血採血を受ける患者の看護 (講義)</p> <p>1. 血液検査の目的と種類 2. 採血部位の選択 3. 採血の方法と注意点            4. 採血に伴う合併症と対応 5. 針刺し事故の予防と対処</p> <p>第 6 回 静脈血採血① (演習)</p> <p>第 7 回 静脈血採血② (演習)</p> <p>第 8 回 終了試験</p>				
評価方法	筆記試験、課題レポート				
テキスト	系統看護学講座 基礎看護学 [3] 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 新体系看護学全書 基礎看護学 4 臨床看護総論 メヂカルフレンド社 看護実践のための根拠がわかる基礎看護技術 メヂカルフレンド社				
講師からのメッセージ	講義・技術演習を組み合わせで行う。 形態と機能、疾病論、機能回復論(薬物療法)の学習内容を復習し授業に臨む。 採血法の技術は、模型や注射シミュレーターを使用して、安全で正確な技術を習得する。 国家試験出題基準を確認し学習すること。				